



圧倒的な対応力 — 短納期・小ロット・多品種

お客様とメーカーの橋渡し役として品質と納期をお約束する福田メタル。長年の製造ノウハウと、**GROW**工程管理システムの導入により、工程の“見える化”を実現。チャンスロスのない最適スケジューリングで、生産性と納期対応力の両立を図っています。

作業の効率化・高度化をめざす設備投資 — ロボット導入・スリッター開発・設備拡充

私たちは、「人を増やさずに加工量を増やす」ことを真剣に考え、継続的な設備投資を行っています。

- 生産現場へのロボット導入による自動化・効率化
- 600 幅対応のスリッター機導入
- 白山工業株式会社と共同による新規ハイスベックスリッター機の開発
- 設備更新・治具開発による作業の高度化

これらすべてが、より速く、より高品質な加工体制を築くための取り組みです。

技術 × 人 × システムで、未来の加工現場を変えていく。
株式会社福田メタルは、製造現場の“進化”を止めません。

トータルウェアラブルシステム開発中 「会社にも社員にもやさしい」 スマートファクトリーへ

作業現場の AI・DX・IoT に加え、ノーコード開発やウェアラブルデバイスを活用したシステム構築を進行中。**受注から出荷までの全工程を一本化し**、生産データと現場を連動させ、お客様・従業員・社会に必要とされるリーディングカンパニーをめざします。

技術の属人化を防ぐ、人材育成への投資

技術は人が支えています。福田メタルでは、

- 社内教育制度の刷新
- 外部研修の積極導入
- ノーコードツールの社内講習

などを通じて、社員一人ひとりが自ら学び、生かせる力を育成。AI、ノーコードツール開発に代表される次世代システムに積極的に取り組んでいきます。



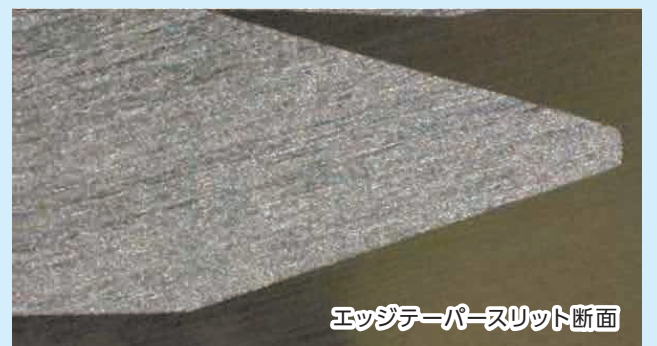
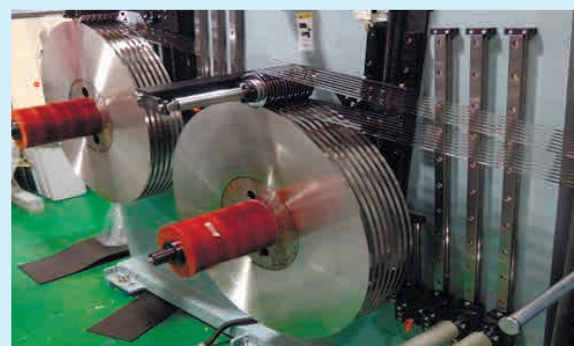
「公式キャラクター
「スリッピピョン」

製造業の未来を共に切り拓く。
短納期 小ロット 多品種
対応に革新のテクノロジーを。

技術 紹介

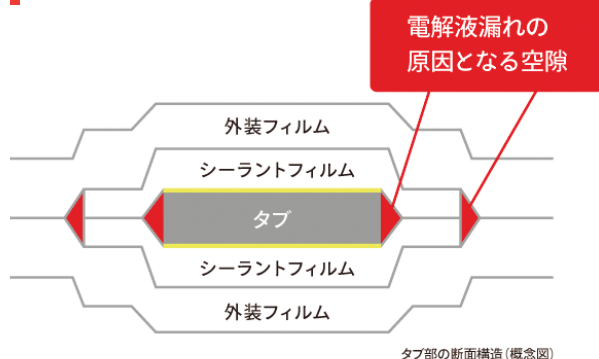
タブリード材へのエッジテーパースリット加工 (ETS)

タブリード材とは EV (電気自動車) 電池用のパウチ型電池に用いられる素材です。タブリード材は自動車向けに電池容量を増やすために板厚が厚くなる傾向があり、厚みにより生じたシーラントフィルムの溶着部分の隙間から、電解液の液漏れが発生するという問題が起きます。そこで当社が開発したのがタブリード材へのエッジテーパースリット加工です。**材料の両エッジ部分にテーパーを付けてシーラントフィルム溶着することで、隙間をなくし、液漏れを防ぎます。**当社ではスリット加工と併せてテーパー加工を行うことができるため、**品質+コストの両面でメリットをご提供します。**



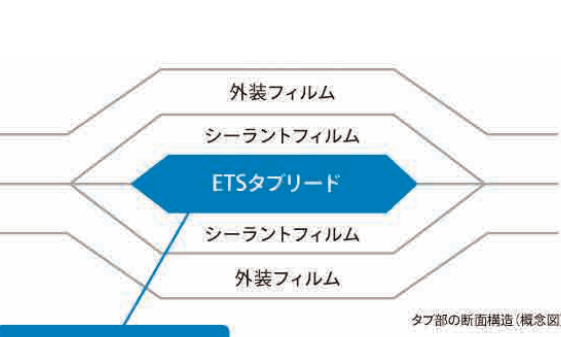
エッジテーパー・スリット断面

一般的なタブリード材



タブ部の断面構造 (概念図)

当社のエッジテーパースリット加工 タブリード材



隙間がないので
液漏れしにくい

タブ部の断面構造 (概念図)

福田メタルの
エッジテーパー
スリット加工の
強み

圧延加工と比較し、
テーパーし始めの
膨れが無い

切削加工と比較し、
金属粉などの
コンタミ混入が無い

さらに スリット + テーパー加工を当社で 1 工程化することで

安定した品質と
高い量産性

短納期対応
及び
横持運賃の改善

品質管理の
一元化による
高い管理体制

金属材料精密スリット加工・販売



株式会社
福田メタル

埼玉県さいたま市緑区大字代山 705-1

代表電話番号 / 〰048-711-4691

工場直通 / 〰048-711-4693



公式 SNS 更新中

